

## 地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和2年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
坂東市	水道事業	—	—

### 実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	地方独立行政法 人への移行	
							○

### 現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

抜本的な改革の検討は行ってきたが、現在において健全な事業運営が実施できており、現行の体制が望ましいとの結論にいたったため現行の経営体制・手法を継続していく。なお今後人口が減少し給水収益の増加が望めない中、持続可能な事業運営をするために、経営主体のスリム化及び徹底した合理化、施設の長寿命化を検討していく。

## 地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和2年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
坂東市	下水道事業	公共下水道	—

### 実施状況

抜本的な改革の取組							
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				現行の経営体制を継続
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
		○					

### 抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業)広域化等					
		(実施類型)		(取組の概要及び効果)		(実施(予定)時期)	
実施済		汚水処理施設の統廃合	汚泥処理の共同化			年 月 日	
実施予定		維持管理・事務の共同化	最適な汚水処理施設の選択(最適化)				
検討中	○	(取組の概要)					
		茨城県において、「広域化・共同化策定検討会」が設立され、県内をブロック単位に分け、令和4年度までに計画を策定する。		(検討状況・課題)		現在は汚水処理施設の広域化・共同化に関する検討委託を行い、坂東市の汚水処理施設について調査を進めている。今後は県の検討会に基づき、計画の策定を進める。	

## 地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和2年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
坂東市	下水道事業	特定環境保全公共下水道	—

### 実施状況

抜本的な改革の取組							
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				現行の経営体制を継続
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
		○					

### 抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業)広域化等						
実施済		(実施類型)		(取組の概要及び効果)		(実施(予定)時期)		
		汚水処理施設の統廃合	汚泥処理の共同化	[ ]		年 月 日		
実施予定		維持管理・事務の共同化	最適な汚水処理施設の選択(最適化)					
検討中	○	(取組の概要)		(検討状況・課題)				
		茨城県において、「広域化・共同化策定検討会」が設立され、県内をブロック単位に分け、令和4年度までに計画を策定する。		現在は汚水処理施設の広域化・共同化に関する検討委託を行い、坂東市の汚水処理施設について調査を進めている。今後は県の検討会に基づき、計画の策定を進める。				

## 地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和2年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
坂東市	下水道事業	農業集落排水施設	—

### 実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
		○					

### 抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業) 広域化等					
実施済		<b>(実施類型)</b> 汚水処理施設の統廃合 汚泥処理の共同化		<b>(取組の概要及び効果)</b>		<b>(実施(予定)時期)</b> 年 月 日	
実施予定		維持管理・事務の共同化 最適な汚水処理施設の選択(最適化)					
検討中	○	<b>(取組の概要)</b> 課内での検討協議及び、広域化・共同化計画策定検討会に参加し協議する予定。		<b>(検討状況・課題)</b> 現在、公共下水道との統合もしくは広域化再編するかについて検討中である。			

## 地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和2年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
坂東市	宅地造成事業	その他造成	—

### 実施状況

抜本的な改革の取組							<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>現行の経営体制を継続</b> </div>
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
							○

### 現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

すべての画地について売却できる見込みであり、また、現行の経営体制・手法で、健全な事業運営が実施できているため。